

応用統計シンポジウム 2026

特集：主成分分析と因子分析

● 日時

2026年11月7日（土）9:00～17:00

● 場所

オンライン Zoom（後日、録画配信予定）



参加申込はこちら

シンポジウム概要

応用統計学的手法の理論の丁寧な解説とその活用事例を提供し、会員・非会員の皆様の理解を深めることを目的として、本シンポジウムを開催いたします。

今年度は、共立出版「統計学One Point」シリーズの『主成分分析と因子分析』をテーマとし、著者の先生に主成分分析と因子分析の基本事項についてご講演いただきます。さらに、他の先生方に主成分分析と因子分析（可視化や次元圧縮を含む）の最新の研究動向についてご講演いただきます。

本シンポジウムは、応用統計学会の会員の方々はもちろん、他学会の皆様、一般の皆様からのご参加も歓迎しております。



本シンポジウムのテキスト

統計学One Pointシリーズ

『主成分分析と因子分析 —特異値分解を出発点として—』

※特設サイトからのご購入で10%割引・送料無料

講演者



山本倫生 先生（大阪大学）

「主成分分析と因子分析の基礎—特異値分解を出発点として—」



植木優夫 先生（長崎大学）

「ゲノムデータ解析における次元圧縮とその応用」



島村徹平 先生（東京科学大学）

「深層学習における潜在変数モデリングと生命科学への応用」



丸橋弘治 先生（富士通株式会社富士通研究所）

「潜在因子を用いた大規模ネットワーク解釈への挑戦」

お問い合わせ 応用統計シンポジウム2026実行委員会
appl.stat.symposium@applstat.gr.jp

主催：応用統計学会
協賛：共立出版株式会社
後援：一般財団法人日本統計協会・一般社団法人統計関連学会連合・一般社団法人日本品質管理学会

JSAS
応用統計学会
Japanese Society of Applied Statistics